

小学校家庭科における消費生活分野の教材開発ーじょうずに使おう物やお金ー

*鳴門教育大学大学院学校教育研究科(院生), **鳴門教育大学大学院学校研究科

授業開発の目的

小学校家庭科の消費生活領域のねらい

- 身近な消費生活や環境をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てる。

→金銭の使い方や物の選び方を学ぶことができる授業の開発

指導上の配慮

- 常に自分の生活との結び付きに気付くようにする

→児童の消費行動をふまえた題材の設定

- 主体的に学習し、実践できるようにする

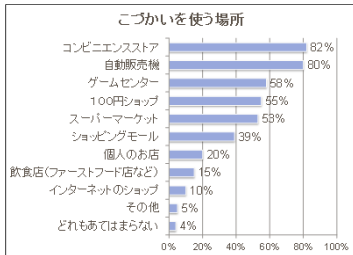
→実践的・体験的な学習活動を通して学ぶことができる授業の開発

背景: 児童の消費行動

事前アンケートで把握した消費行動

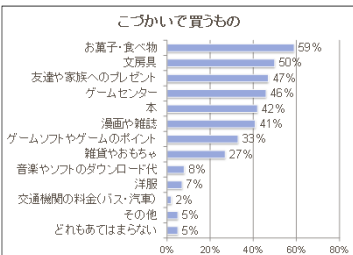
- 自分のこづかいを使う場所

- コンビニエンスストア
- 自動販売機
- スーパーマーケット



- 自分のこづかいで購入するもの

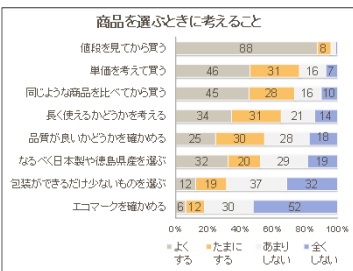
- お菓子・食べ物
- 文房具



- 商品を選ぶときに考えること

- 値段を確認する
- 環境のことを考える

児童は少ない



内容と方法

授業内容 <1校時目>

目標

時と場合に応じた金銭の使い方や物の選び方を考え、工夫することができる

1. コンビニエンスストアの棚の写真から商品を選ぶ

2. 飲み物を選ぶときの観点を考える

- ・飲み物を選ぶ理由を考え、「じょうずに買い物をするための以下4つの手順」と関連付ける

3. 家でホームパーティーのテーマと飲み物を決める

- ・家で重視した選択方法のポイントを確認

授業内容 <2校時目>

目標

身近な物の選び方や買い方を考え、様々な情報をもとに適切な購入の計画を立てることができる

1. 予算内でホームパーティーの買い物計画を立てる

- ・限られた予算内に収める
- ・班員各自の好み(たくさん食べる、甘いもの etc.)を考慮する
- ・ゴミの量(容器包装、使い捨て商品)を考える

2. レイアウト作品の製作

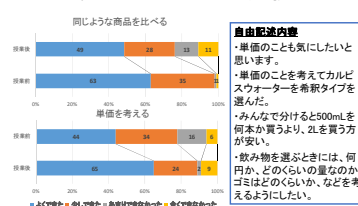
- ・商品の写真を疑似的に購入
- ・写真を用いて画用紙上にレイアウト作品を作る

3. グループごとの発表

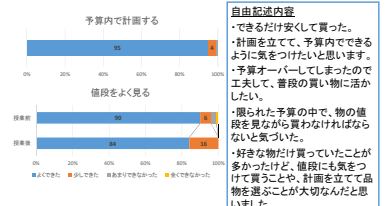
- ・班での意見交換の共有、再確認
- ・指導者側からの助言

授業効果の検討

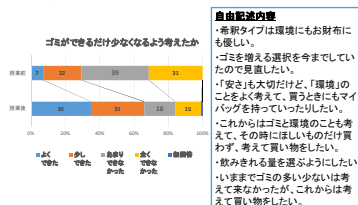
時と場合に応じた商品選択



適切な購入の計画



環境を考えた商品選択



総括

教材

- ・コンビニエンスストアの飲料やお菓子など身近な商品や価格設定 → 児童の日常生活と結びつけることができた
- ・小学生に身近な教材(ホームパーティー)の計画の設定 → 卒業間近のため、興味をもった取り組みにつながった
- ・ホームパーティーの計画書とレイアウト作品づくり → 明確な目標があったため、意欲的な取り組みにつながった

指導方法

- ・班活動 → 商品選択に様々な視点があることへの気づきや、主体的な学習につながったと考えられる
- ・近隣のコンビニエンスストアやスーパーマーケットで取り扱う実際の商品の提示 → 実感を持って容器・包装の違いや量に気づくことができた
- ・飲料の選択を個人とグループの2場面で検討 → 時と場合に応じた商品選択方法があることを確認させることができた

改善点

- ・導入部分の問いかけへの発言を増やす → 買物が日々の生活に欠かせないことを実感させる発問を工夫する
- ・計画書の記入に要する時間を短くする → 記入方法、計算方法を丁寧に説明する、電卓を利用する
- ・班による進捗の差を減らす → 机間指導の充実、班員の役割分担をうながす
- ・発表を上手くまとめる → 事前に発表者を決めさせる、発表のポイントを明確化する

- 児童に身近なコンビニエンスストアでの買い物を実験する。
- よく購入する飲料、菓子を題材とする。
- 環境に配慮した商品の選び方を意識できるようにする。

※事前アンケートは平成27年7月に実施、授業は平成28年1月に実施した。